



# 第46期 中間報告書

平成27年1月1日 ▶ 平成27年6月30日

palro®



富士ソフト 株式会社

# 「ICTの発展をお客様価値向上へ結びつける イノベーション企業グループ」を目指して活動してまいります



代表取締役 会長執行役員

代表取締役 社長執行役員

野澤 宏

坂下 智保

株主の皆様には、平素格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

第46期中間報告書をお届けするにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

当第2四半期連結累計期間（平成27年1月1日から平成27年6月30日まで）における日本経済は、円安や株高を背景に、企業収益が総じて改善傾向にある中、雇用・所得環境の改善に加え個人消費にも持ち直しが見られる等、緩やかな回復基調で推移いたしました。

情報サービス産業におきましても、企業の収益改善を背景に、IT投資が活性化し、先進ICT技術を利用したサービス等の戦略的なIT投資も増加しており、引き続き需要は拡大基調を示してまいりました。

こうした状況の下、当社グループは、中期方針である「ICTの発展をお客様価値向上へ結びつけるイノベーション企業グループ」を目指し、付加価値向上に取り組んでまいりました。また、IT関連の技術者不足が常態化する中で、お客様ニーズに的確に応えるため、積極的な人材採用やビジネスパートナーとの連携を強化し体制整備を引き続き進めてまいりました。

## 【当中間期の取り組みと業績について】

### システム構築分野での取り組み

システム構築分野では、高度化し多様化する市場ニーズに対応するため、当社がこれまで取り組んできた技術研究や開発案件の中で培った様々な技術分野でのノウハウを活かし、特に最新の技術分野や経験の深い業務分野のシステム開発等におきまして、お客様へ積極的に提案し、受注活動を行ってまいりました。さらに、技術者の採用・育成、営業職の強化等、引き続き体制強化を進めてまいりました。その結果、最先端の技術開発が進む自動車・FA（工作機械）等の機械制御分野、先進ICTを利用した新たな設備・環境・サービス等の需要が高まる航空・宇宙・電力分野やネットビジネス分野等に加えて、流通・製造業向けの業務システム開発等につきましても、好調に推移いたしました。

### プロダクト・サービス分野での取り組み

プロダクト・サービス分野では、介護予防の観点から注目されるコミュニケーションロボット「PALRO（パルロ）」の高齢者福祉施設への導入が進むとともに、コンシューマ向けモデルを株式会社DMM.com様が展開するロボットキャリア事業に「Palmi（パルミー）」として供給を開始いたしました。また、スマートデバイス向けサービス「moreNOTE」、総合教育ソリューション「みらいスクールステーション」等につきましても、官公庁・企業・学校等への導入を進めてまいりました。さ

らに、これらの戦略商材及び、前期好調だったライセンスビジネスにおきましては、営業強化を目的とした組織変更を行い、販売拡大を図ってまいりました。

### グループ関連

当社子会社でありますサイバーコム株式会社が、平成27年2月に東京証券取引所市場第二部へ上場いたしました。

### 当中間期の業績について

このような状況下、第2四半期連結累計期間の業績につきましては、システム開発案件が好調に推移したことにより、売上高は781億39百万円（前年同期比3.9%増）となりましたが、不採算案件等による売上原価への影響に加え、人材採用及び教育への先行投資に伴い、販売費及び一般管理費が142億58百万円（前年同期比7.3%増）に増加したことにより、営業利益は34億73百万円（前年同期比11.8%減）、経常利益は38億40百万円（前年同期比7.7%減）となりました。また、関係会社株式の売却の影響により、四半期純利益は19億14百万円（前年同期比13.3%減）となりました。

株主の皆様におかれましては、これまでと変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

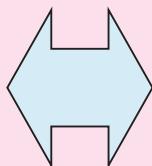
## ICTの発展をお客様価値向上へ結びつけるイノベーション企業グループ

お客様のさらなる「付加価値の向上」「新たなビジネスの創出」「競争優位性の強化」に繋げる

### 中期目標 高付加価値事業構造への挑戦と創造

#### 付加価値の向上

現場力強化(体制整備)  
マーケット創出(含 海外)  
販管コスト適正化



#### プロダクト化・サービス化推進

クラウド(C)(含: ネット関連)  
ロボットテクノロジー(R)  
モバイル(M)(含: 様々なデバイス)

### <基本戦略>

受託ビジネス基盤の強化

プライム化の推進

プロダクト化の推進

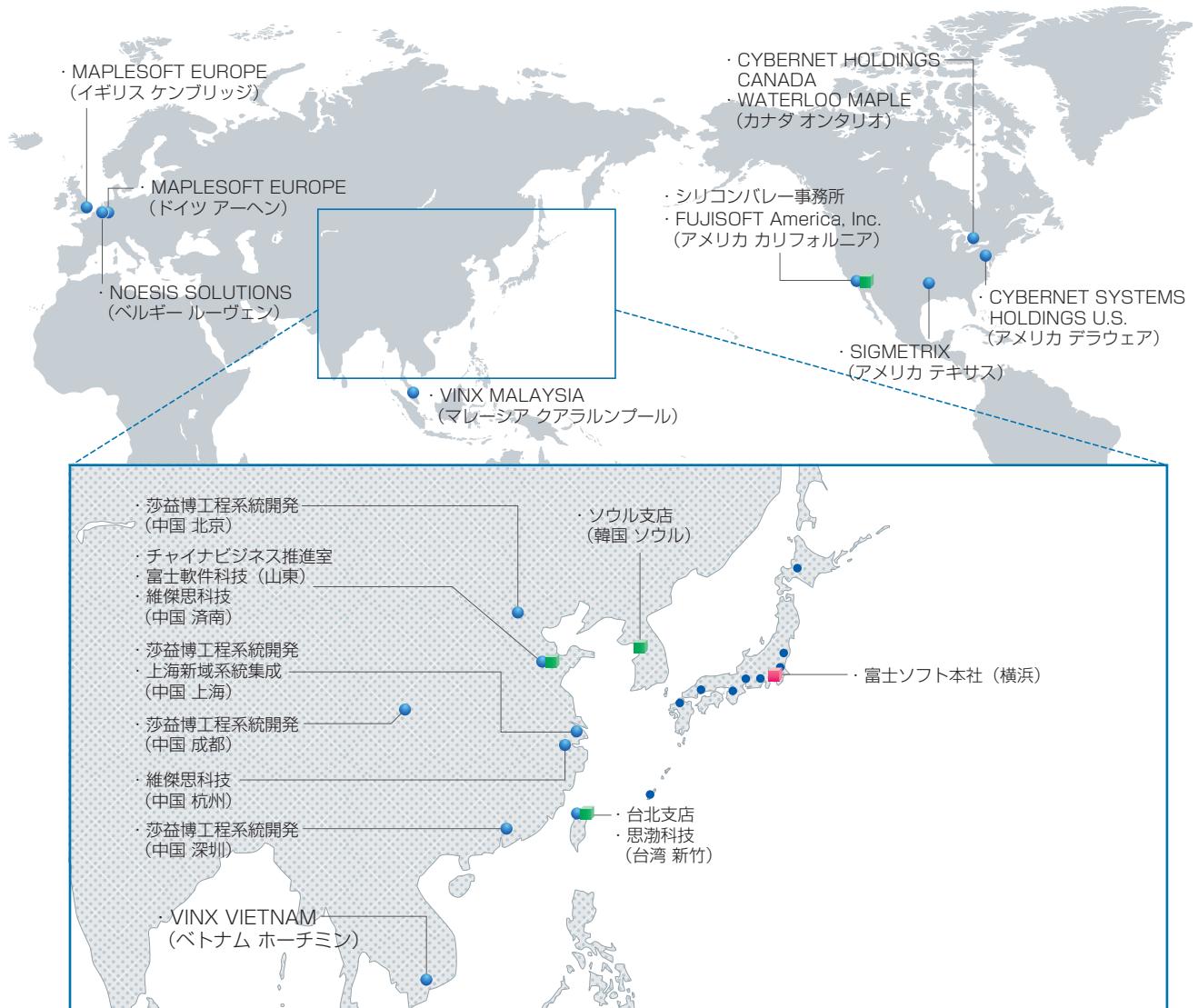
グローバル化の推進

グループ力の強化

# Global Network

## グローバルネットワーク

■ 富士ソフト本社  
 ■ 富士ソフト支店／事務所  
 ● 富士ソフトグループ企業  
 ● 国内ネットワーク



# palro<sup>®</sup>

平成24年6月より高齢者福祉施設に販売開始したコミュニケーションロボット。  
導入施設数は累計で250施設を超えています。

### ご利用になっている施設のみなさまの「声」

- 「パルロとおしゃべりする人は、みんな笑顔。“こんなに大声で笑ったのは久しぶり”って。パルロには、人を元気にする力があるみたいです。」
- 「今日は、パルロはどこにいるの？」と、個室にこもりがちだった方まで、談話室に足を運んで下さるようになりました。」
- 「ご利用者様だけでなく、ご家族やスタッフからも大人気。パルロをみると、みんな笑顔で立ち止まる。当施設のアイドルとして、大活躍してくれています。」



パルロ

# Palmi

Product by FUJISOFT

PALROをコンシューマ向けに最適化し、株式会社DMM.com様のロボットキャリア事業「DMM.make ROBOTS」へ供給を開始いたしました。

総合教育ソリューション

# みらいスクールステーション<sup>®</sup>

学校の既存設備を有効活用し、ごくごく安価に教育の現場を最新の教育環境へと進化させる総合教育ソリューション。平成24年の商品化以降、160を超える学校に導入されています。

### ご利用になっている学校のみなさまの「声」

- 「授業において教材コンテンツをリモコン1つで再生できる機能がたいへん使い勝手がよいです。シンプルで使い易いため、教員のICT活用の頻度が格段に上がりました。まさに“みらいの学校に近づいた”と感じています。」
- 「運動会の時に校内放送を使用しました。競技の様子を教室のテレビでライブ視聴できるという“これまで無かった便利さ”が、特に小さなお子さんを連れた保護者やご高齢の方から非常に好評でした。」

みらスク



多彩な機能を実現するメディアボックス

# moreNOTE®

ペーパーレス会議やワークスタイルの改善を実現するタブレット向けサービス。平成24年12月に本格販売を開始し、導入数は800社を超え、中央省庁及び自治体への導入も進めています。

## ご利用になっている企業・自治体のみなさまの「声」

### 1.Spring Japan(春秋航空日本株式会社)様

平成24年9月の会社立ち上げに際し、マニュアル電子化の試みを始められたSpring Japan様。パイロットの地上訓練や操縦室外での活用から始まり、マニュアル等の紙資料をペーパーレス化し、持ち運び負担や資料差し替えの手間の削減を実現。また、資料の暗号化やタブレットの紛失時対策など、セキュリティ対策も万全になりました。さらに閲覧記録をチェックする機能を活用することで、情報伝達の確実性を担保することを可能にしました。

### 2.神奈川県寒川町様

従来、年間約10万枚の膨大な紙資料で議会を運営しており、かねてよりペーパーレス化が大きな課題だった寒川町様。約1年かけて調査研究、実証実験などを重ねた結果、moreNOTEであれば安全性を確保しながらペーパーレス化、さらには業務効率化が見込まれることがわかり、議会審議や議員活動に導入されました。

### 3.自由民主党政務調査会様

世界最先端のIT国家を目指し、国会でもICT化が取り組まれています。自由民主党政務調査会のIT戦略特命委員会では、平成26年10月からタブレットを活用したペーパーレス会議の試用を開始し、40回の委員会開催で8万枚を超える紙資料の削減を実現しました。moreNOTEの万全なセキュリティと簡易な操作性で、事務局作業も大幅に軽減されています。

この効果を受けて、平成27年5月よりmoreNOTEが本格導入されました。ペーパーレス会議だけでなく、事務局とのコミュニケーション強化やテレワーク推進への導入を視野に、さらなる活用を進めていきたいと思います。



寒川町議会のみなさま

moreNOTE

検索



## 「再生医療アカデミアモデル」提供開始

当社は、企業治験を行っている「インプラント型自己細胞再生軟骨」の研究で培ってきた経験とノウハウを活かし、大学発の再生医療研究の事業化を後押しする「再生医療アカデミアモデル」を考案し、サービスの提供を開始しております。

サービス内容としては、教育・訓練、研究・開発支援、産学連携支援、細胞凍結保管であり、大学の再生医療研究の事業化の障壁になっている様々な課題について、特定細胞加工物製造許可を取得している富士ソフトグループの富士ソフト・ティッシュエンジニアリング株式会社の細胞培養センターを使用し、非臨床試験から臨床試験までをワンストップサービスで提供することで解決するものであります。

再生医療については、平成26年11月に再生医療等安全性確保法の施行により、規制が緩和され、再生医療関連産業の成長が促進されています。

当社では、大学発の再生医療研究が事業化され、新たな治療法の一つとして提供されるよう支援してまいります。



細胞培養センター(当社錦糸町ビル内)

# 連結財務諸表 Consolidated Financial Statements

## 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当第2四半期連結会計 期間末(第46期) 平成27年6月30日	前連結会計年度末 (第45期) 平成26年12月31日
<b>●資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>56,725</b>	<b>55,094</b>
現金及び預金	12,936	15,244
受取手形及び売掛金①	30,995	30,136
有価証券②	4,300	3,010
たな卸資産①	2,668	1,968
繰延税金資産	2,521	2,150
その他	3,303	2,584
<b>固定資産</b>	<b>101,667</b>	<b>102,492</b>
有形固定資産	67,249	67,513
無形固定資産	6,948	7,641
投資その他の資産	27,469	27,337
<b>資産合計</b>	<b>158,392</b>	<b>157,587</b>
<b>●負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	<b>34,844</b>	<b>38,039</b>
買掛金①	9,737	7,493
短期借入金④	3,387	7,983
コマmercial・ペーパー④	6,000	5,000
未払費用・賞与引当金	6,635	5,873
未払法人税等③	1,284	2,312
工事損失引当金	177	140
その他③	7,622	9,236
<b>固定負債</b>	<b>20,671</b>	<b>19,021</b>
長期借入金④	9,637	8,230
その他	11,033	10,790
<b>負債合計</b>	<b>55,515</b>	<b>57,061</b>
<b>純資産合計</b>	<b>102,877</b>	<b>100,526</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>158,392</b>	<b>157,587</b>

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当第2四半期連結累計期間(第46期) 平成27年1月1日から 平成27年6月30日まで	前第2四半期連結累計期間(第45期) 平成26年1月1日から 平成26年6月30日まで
<b>売上高①</b>	<b>78,139</b>	<b>75,207</b>
売上原価①	60,407	57,982
<b>売上総利益</b>	<b>17,732</b>	<b>17,225</b>
販売費及び一般管理費②	14,258	13,289
<b>営業利益</b>	<b>3,473</b>	<b>3,936</b>
営業外収益	237	227
営業外費用	110	167
持分法による投資損益③	239	165
<b>経常利益</b>	<b>3,840</b>	<b>4,161</b>
特別利益	-	31
特別損失④	369	104
<b>税金等調整前四半期純利益</b>	<b>3,470</b>	<b>4,088</b>
法人税等合計	1,223	1,465
少数株主損益(減算)	333	414
<b>四半期純利益</b>	<b>1,914</b>	<b>2,208</b>

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

### 連結貸借対照表のポイント

- ①受取手形及び売掛金 (+858百万円)  
たな卸資産 (+699百万円)  
買掛金 (+2,243百万円)  
SI事業における売上増加による影響
- ②有価証券 (+1,290百万円)  
資産運用による増加
- ③未払法人税等 (△1,027百万円)  
その他の流動負債 (△1,614百万円)  
法人税・消費税の支払による減少
- ④短期借入金 (△4,595百万円)  
コマmercial・ペーパー (+1,000百万円)  
長期借入金 (+1,407百万円)  
借入の約定返済による増減

## 連結損益計算書のポイント

- ① **売上原価率 (+0.2%)**  
採用増に伴う一時的な原価率の上昇や、一部子会社における不採算案件の影響
- ② **販売費及び一般管理費 (+969百万円)**  
採用増に伴う人件費・採用研修費などの一時的な増加
- ③ **持分法による投資損益 (+73百万円)**  
エース証券の増益に伴い増加
- ④ **特別損失 (+265百万円)**  
エース証券の株式売却損による

## 配当金について

平成27年12月期第2四半期の中間配当金につきましては、当第2四半期決算を踏まえ、1株当たり14円（前期 同14円）とさせていただきます。

## HPのご案内

当社のHPでは、IR情報やプレスリリース等の最新情報を掲載しております。ぜひ一度ご覧ください。

<http://www.fsi.co.jp/>



有価証券報告書、四半期報告書については、当社HPの他、金融庁の運営するEDINETでもご確認いただけます。

<http://disclosure.edinet-fsa.go.jp/>

## ■連結財務ハイライト(中間期) Financial Highlights

### 決算のポイント

■売上高はシステム構築分野の好調により増収

◇売上高は、機械制御系や流通分野をはじめとしてシステム構築分野が好調に推移し、前年同期比103.9%の78,139百万円となりました。

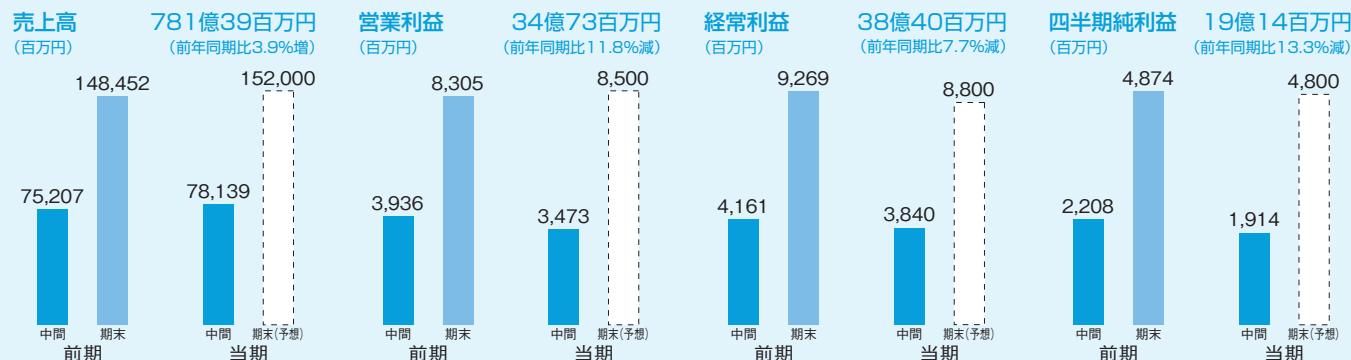
◇第2四半期区間実績では、前年同期比108.2% (39,006百万円) と大きく伸長しました。

■営業利益は販管費の増加や子会社の不採算案件などにより減益

◇営業利益は、採用強化に伴う販管費の増加や一部子会社での不採算案件などにより、前年同期比88.2%の3,473百万円となりました。

◇経常利益は、持分法投資利益の増加により3,840百万円となりました。

◇四半期純利益は、関係会社株式の売却による第1四半期での特別損失計上などにより、1,914百万円となりました。



## CSR（企業の社会的責任）

### 全日本ロボット相撲大会®、INTERNATIONAL ROBOT SUMO TOURNAMENT

当社は、「ロボット作りを通して『ものづくり』の楽しさを知ってもらう場を提供する」ことを目的に、国内最大規模のロボット競技大会「全日本ロボット相撲大会®」を平成2年より毎年開催しております。第27回となる今年の大会では、1,190台の「ロボット力士」が全国各地で熱戦を繰り広げ、地区大会を勝ち進んだ128台（高校生の部64台、全日本の部64台）が全国大会に進み、優勝者には文部科学大臣杯及び文部科学大臣賞が授与されます。

また、当社が考案したロボット相撲は海を渡り、世界各国で大会が開催されるようになりました。第2回目となる「INTERNATIONAL ROBOT SUMO TOURNAMENT」は、ロボット相撲が競技として開催されている海外16ヶ国14大会の上位入賞者と、「第27回全日本ロボット相撲全国大会」の優勝者でトーナメントを開催し、世界1位を決定します。



本年度ポスター

### 障がい者雇用の推進（就職予備校・ヘルスキーパー）

富士ソフトグループの特例子会社である富士ソフト企画株式会社は、障害福祉サービス事業「就労移行支援事業」事業者として平成26年11月1日に認可され、同年12月1日より事業を開始しております。

同社経営理念の「自立と貢献」を基本コンセプトとして、障がい者の自立を促し、一人でも多くの就労者を輩出したという思いを込めて、「就職予備校」とネーミングをつけました。

また、さらなる障がい者雇用の拡大と多様な職域の開発を推進するため、視覚障がい者の方をヘルスキーパー（※）として雇用する取り組みを開始しました。

今後も障がいの有無に関わらず、健常者と同じ環境で無理なく働けるよう、より働きやすい環境を整えてまいります。

※ヘルスキーパー（企業内理療師）：企業内で従業員の健康管理や疲労回復のためにマッサージを行う理療師。



就職予備校



マッサージを行うヘルスキーパー

### 被災地地方行政へIT技術者を派遣

当社は「特定非営利活動法人IT工房ひのき」と連携し、ICTを活用した様々な復興支援活動を全国各地で行っております。

東日本大震災による未曾有の被害を受けた地域は復興に向けて着実に歩んでおります。しかし、小さな町村の中には新しいまちづくりのための企業からの支援・介入が少なく、地域住民だけでは復興がなかなか進まないところもあります。そのような状況を鑑み、当社は岩手県田野畑村の復興・活性化に寄与するため、社員2名を企業派遣し、ICT基盤を活用した創造的な復興を実現するために、超高速ブロードバンドや放送の受信環境ICT基盤の一体的な整備を行っております。



田野畑村に派遣している2名の社員

### ネパール地震に対し義援金を寄付

平成27年4月25日にネパール中部で発生した地震によって、甚大な被害を受けた被災地の復旧・復興にお役立ていただくため、当社では、日本赤十字社を通じて、100万円の義援金を寄付いたしました。一日も早い生活基盤の復旧・復興をお祈り申し上げます。

## 株式の状況 (平成27年6月30日現在) Stock Information

## 会社概要 Corporate Data

## ●株式の状況

- 発行可能株式総数……………130,100,000株
- 発行済株式の総数……………33,700,000株
- 株主数……………8,567名
- 単元株式数……………100株

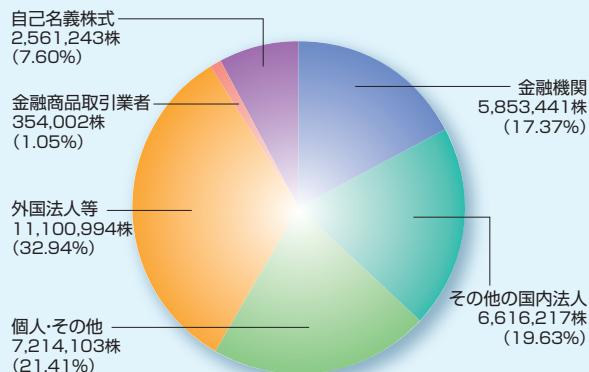
## ●大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
有限会社エヌエフシー	3,228	10.37
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE SILCHESTER INTERNATIONAL INVESTORS INTERNATIONAL VALUE EQUITY TRUST	2,086	6.70
野澤 宏	1,545	4.96
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE U.S. TAX EXEMPTED PENSION FUNDS	1,278	4.11
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,129	3.63
新井隆二	1,022	3.28
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	915	2.94
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) SUB A/C NON TREATY	713	2.29
BBH FOR BBHTSIA NOMURA FUNDS IRELAND PLC /JAPAN STRATEGIC VALUE FUND	631	2.03
野澤則子	629	2.02

(注) 1. 当社は、自己株式を2,561,243株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

2. 持株比率は自己株式を除いて算出してあります。

## ●所有者別株式分布状況



## ●概要 (平成27年6月30日現在)

名称 富士ソフト株式会社  
 英語名称 FUJI SOFT INCORPORATED  
 本社所在地 〒231-8008 神奈川県横浜市中区桜木町一丁目1番地  
 TEL : 045-650-8811 (大代表)  
 設立 1970年(昭和45年)5月15日  
 資本金 262億28万円  
 従業員 5,557名

## ●役員 (平成27年9月1日現在)

代表取締役会長執行役員 野澤 宏  
 代表取締役社長執行役員 坂下 智保  
 取締役専務執行役員 竹林 義修  
 取締役専務執行役員 豊田 浩一  
 取締役 野澤仁太郎  
 取締役 二見 常夫\*1  
 取締役 油田 信一\*1  
 常勤監査役 生嶋 滋実  
 監査役 石村英二郎\*2  
 監査役 元石 一雄\*2  
 監査役 石井 茂雄\*2  
 専務執行役員 山口 昌孝  
 常務執行役員 渋谷 正樹  
 常務執行役員 須藤 勝  
 常務執行役員 田原 大  
 常務執行役員 安江 令子  
 常務執行役員 白石 善治  
 常務執行役員 猪原 幸裕  
 執行役員 木村 宏之  
 執行役員 布目 暢之  
 執行役員 内藤 達也  
 執行役員 原井 基博  
 執行役員 前川 政喜  
 執行役員 岡嶋 秀実  
 執行役員 新井 世東  
 執行役員 山岡 寛典  
 執行役員 堤 健二  
 執行役員 三木誠一郎  
 執行役員 本田 英二  
 執行役員 松崎希誉文  
 \*1は社外取締役  
 \*2は社外監査役

## ■株主メモ

事業年度	1月1日から12月31日	株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
期末配当基準日	12月31日	同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL：0120-232-711（通話料無料）
中間配当基準日	6月30日	公告掲載URL	http://www.fsi.co.jp/ir/notify/ ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公 告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
定時株主総会	毎年3月に開催		
単元株式数	100株		

### （ご注意）

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

### 【配当金計算書について】

同封いたしております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づき作成する「支払通知書」を兼ねております。配当金をお受取りになった後の配当金額のご確認や確定申告の資料としてご利用いただけます。

なお、配当金を証券口座でお受取り（株式数比例配分方式）の株主様は、お取引のある証券会社へご確認ください。

## ■「第27回全日本ロボット相撲全国大会」 「INTERNATIONAL ROBOT SUMO TOURNAMENT 2015」

「第27回全日本ロボット相撲全国大会」と「INTERNATIONAL ROBOT SUMO TOURNAMENT 2015」を下記にて開催いたします。マス席、昼食のご用意もさせていただきますので、株主の皆様におかれましては、ぜひ会場へご来場の上、土俵の上で繰り広げられるスピーディでパワフルな戦いをご覧ください。

ご来場の際、本「第46期中間報告書」をご持参の上、会場受付にてご提示ください。



日時：平成27年12月13日(日) 10:00～16:00(予定)

場所：両国国技館(東京都墨田区横網1-3-28)

スケジュールは変更となることがございます。くわしくは以下公式サイトをご覧ください。

全日本ロボット相撲大会 公式サイト URL <http://www.fsi.co.jp/sumo/>

## ■富士ソフト公式Facebookページのご案内

製品・サービスに関する情報やイベント開催などの最新情報を配信しています。ぜひご覧ください。

名称 富士ソフト株式会社 URL <https://www.facebook.com/FUJISOFT.japan>

# 富士ソフト株式会社

[www.fsi.co.jp](http://www.fsi.co.jp)

本社 〒231-8008 神奈川県横浜市中区桜木町一丁目1番地 TEL：045-650-8811 (大代表)

